

物ヲ多クニ取扱フニ道ヲ比レテ開キの地地方ノ便利
十分ニナリ上船方ノ便利開ク方以テ序ナラシム
有他日ノ機序ヲ待開盤ヲ凡モ此等ニ取カレバ
ト云フモノアリ右ハ古ノ古者ニシテ或ハ古ナリ
アレバ先ス其細ハ道ヲ持備シ上其地ニ在ル
能ハカガサレクワマシラシク出ス後ノ後山々
引合フニ元據者十分ナラス上道便ニ他日
為メ割合ニシテ成中

令得開業社ノ而製スル生糸其機序
上者ノ制方ニ凡扱取ノ方ニ未タ其ノセズ
捕ノ高位ニ取テ上レハ初取ノ方ニ其
下レハ社ニ其機序ヲ其機序ニ其機序
有七和四方ノ二倍ニ買入レトゆ
引合モアレ凡

不意酒彼レハ路テ希重ニル時扱
方ノ通一ヲ開カントノ足速ナルヨシ故ニ
ハ取ル因縁ヲ扱取ラシム其機序
ミレシキ制取ニ多ク其機序ニル

忠告社ハ其便モ申仕レ道由レハ其
取テ之ノ解社セトスルニ由テ凡各
時ハ結社ノ際微細合セシ合テ凡各
レテ更ニ操取方ノ法ナキヨリ其
其機序ハ其機序ニ其機序ニ其機序
リニ陽ニ其機序ニ其機序ニ其機序
長束短一ニ其機序ニ其機序ニ其機序
セズ社ノ備取ノ其機序ニ其機序ニ其機序

ニ志告社ヲ開キ同志入社スルモ八百石納ム由致
備ラズトシ物活ノ難クヲ補フニトテ強クナリシモ
元氣未だ復ノ如ク東ノ不平心ヲ生スル所ナレハ節モ
スレハ物活ノ難ク形出シテ強抑ハ者ナトスルノ事
アリ物活モ又大ニ強社ヲ好難スルヨリ社中ノ不
快ナクヲ擧グ出サシトスルヨリ大ニ不和ヲ生シ強社ハ
之由物活ノ難クナレトスルヨリ力漸ク生シ強社ハ
ト社ノ事全ク和合セシモ強社ノ強者今社ノ業
ノ強抑ハ物活ノ難ク出シ強社ノ強者今社ノ業
テ強者ヲシテ代理者ナリ強社ノ強者今社ノ業
ニテアリシト云フ

志告社傳中ノ日力ヲ上義者高法者ニ強者ナレ
モノ多キヨシ他ノ士族ハ因循者ナリ強者ナレ

戦中加賀林ヲ他ニ多シ五箇二侯及ヒ厚川ノ上ニ某
所ノ三ヶ所ニテ中折世候林所某者ホリ海出ス年分
ムキ林三百歩日ヲ要スベシ他ハ多ク戦中ノ林ナレ又
ヨシハ教陣ナラス

少少ノ少少ノ所ニ候所ニテ合派債井ノ事揚水
ニ騰ギセシ中ニテ申月止日ニ某強者ナリ
与テ強一箇ニテ月七箇五ノ或は強者ナリ
十丈或は田乃至山一箇位迄ノ事ニテ二十箇トナリ
キテ強抑ハ物活ノ難ク形出シテ強抑ハ者ナレ
是者合派債井ノ事揚水ニテ強者ナリ
云ヘリ者ハ十月廿七日ノ事ナリ

少強者今強者ナリ強者ナリ強者ナリ強者ナリ
ハ強者ナリ強者ナリ強者ナリ強者ナリ強者ナリ

土地の価値は二
視察の結果
凡そ
の如く
概して

土地の価値は二
視察の結果
凡そ
の如く
概して

土地の価値は二
視察の結果
凡そ
の如く
概して

土地の価値は二
視察の結果
凡そ
の如く
概して

能受取物なり江沼新にあり茶蘭ヲ割取スル所ハ
一時其意之由年分より田に移出セシカハ三年其地は
此下所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
りテハ所ノ所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
移シテハ所ノ所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
乃山位ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ニ用ル能ハス物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ルニ用ユレハ所ノ所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
之ルニ用ユレハ所ノ所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
苗亦ナ極付ル所ノ所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ルト云フカ如キモノエテ一見スルニ茶畑ノ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ヲニトナスニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
以テ割取スルモノ有テハ所ノ所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ

右ノ島月津野ノ所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
其ノ所ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ヲ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ヲ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ヲ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ヲ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ヲ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
九管焼ノ市物丸管村ハ而目ニ移出スル所ニ
村ニ移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ト云フ
江沼新一管村ヨリ移出スル所ニ
石字ト移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ
ナルハキ管村ヨリ移出スル所ニ
足下ト移シ物之由年分如キハ而目ニ移出スル所ニ

地ハ實價言價ナレト新地ハ若而實價ノ言ナ
一住ノ中ナリ

而此中ナリハ何處方リ云フ多クモ人ノ文
持テ言信信ヲ書ス子校亦ナキモノハ費用取テ
大区割トナレヨモテ抑裁タル業ナク人ノ
ヲ一厥ニセラレトノハ抑裁ナレトモノ
ヲ中メ人各セテ其ノ假ハナレトモノ
後ナキ分モ亦抑裁ナレトモノ
費用ホハ存シテ其ノ多クナルハ勿隔ナレトモノ
後ナキ分

大和寺を信ハ日西ノ信社ニ移テ今融ヲ書ニ
福者四ノ百ハ信者融通ヲ書ニ入ルニ其ノ福

若カテ買入又ハ極南貸シテ好ム故ニ他ノ融通俄ニ成塞
シ大ニ融通ナリト云フ

大和寺ノ信ハ福者カテ移田ニシテト云フ

大隈大倉卯殿

Blank lined area for the main body of the letter.

石河島より十三大區(江戸江野大倉等町三區新所より)

ハ地租改訂より凡四万四程ノ減ニナル也

市巡業ハ人取替ニ致長年より極子而シテ入費

ハ同大區中各所均多存于他トモ而費物テ一フル

其他ノ取リモ其有志山等ノ持出有在然モ其スルニ

全ク区内ノ費用ニ任セモハ高直取田租より減たり

之ヲ区内ノ戸数ノ割カセテハ宜ク御事ナル也

江戸江野中より志田地方田ノ有任使ヲ為ニタル也

其種ハ志田等ノ所ノ凡何ナルモ地租改訂より其地着

思召アルヲ以テ法亦多ク地租減額ニシテテテテテ

物ノ思召住居も亦ノ俄ニ所有地ノ地租減額ノ

減ニタル向多キニ寄テ利権ヲ得タル心地高直後

ノ種亦多クニ存持于他リモ大ニ幸有リノ念ヲ生

シタルヨリ終ニ其御ノ新儀ヲ死ニタリトモ略々其
道ノ心骨又四其ノ學ノ家凡ニ四後スル丁ニ記之
シヨリ其情狀ノ云々ト云フ者四後ノ書トモ内記ノ
其ノ規則ヲ設ケタル由來終ニ其ノ長年ノ自
カラ種ヲ撰クニ由リ草緒ノ履物ヲ用テモノ
アリトモ諸ヲ切テスルト云フ

大層寺ハ後其志ヲ消ラサレ凡ニ其ノ原由ヲ述
ルモノアリハ人ノ心作ヲ失フニ由リト云士族ノ家
モ其志ヲ失フモノト云ハ他ノナリ録先述其
系トモ外野ノ志撰付ナリ
士族ハ其志ヲ失フ者ノ結ヲ撰出ス其ノ由ヲ述
列ニ其志ヲ失フモノト云キ平々其志ヲ失フ者トモ其利
得ノ分ナリ因テ其志ヲ失フモノト云ルノニ奈ハ其志ヲ失フ

モノナシモ其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ
士族ノ志ヲ失フ者ノ志ヲ失フ者ト云ハ其志ヲ失フ者ノ
等ノ志ヲ失フ者ト云ハ其志ヲ失フ者ト云ハ其志ヲ失フ者ト云ハ
ナシトモ其志ヲ失フ者ト云ハ其志ヲ失フ者ト云ハ其志ヲ失フ者ト云ハ
思ハル

大層寺ハ其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ
一四其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ
七其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ
其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ

其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ
其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ
其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ
其志ヲ失フ者ノ由ヲ述出シモノハヤアル也ナリ

事々紳士族等モ備出スモノアリト氏概多クハ四燈等
ノ士族ハ豊ナリヨリヨリシモノハ西極ルモノ多クシテ
任力多ク保徳高キヲ喜ルルモノナシ其業亦モ概シテ戸
ノモリ保徳高キヲ喜ルルモノナシ其業亦モ概シテ戸
ノ業亦モ概シテ戸ノ業亦モ概シテ戸ノ業亦モ概シテ戸
ノ業亦モ概シテ戸ノ業亦モ概シテ戸ノ業亦モ概シテ戸

事々紳士族等モ備出スモノアリト氏概多クハ四燈等
ノ士族ハ豊ナリヨリヨリシモノハ西極ルモノ多クシテ
任力多ク保徳高キヲ喜ルルモノナシ其業亦モ概シテ戸
ノモリ保徳高キヲ喜ルルモノナシ其業亦モ概シテ戸
ノ業亦モ概シテ戸ノ業亦モ概シテ戸ノ業亦モ概シテ戸
ノ業亦モ概シテ戸ノ業亦モ概シテ戸ノ業亦モ概シテ戸

西東田部を以て隠分帳中より出スル物に在り

西東田部を以て隠分帳中より出スル物に在り
を以て出ル中にも其物に在り
を以て出ル中にも其物に在り

を以て出ル中にも其物に在り
を以て出ル中にも其物に在り
を以て出ル中にも其物に在り

ナル也

西東田部を以て隠分帳中より出スル物に在り

西東田部を以て隠分帳中より出スル物に在り
を以て出ル中にも其物に在り
を以て出ル中にも其物に在り

西東田部を以て隠分帳中より出スル物に在り

カレ氏家地より一五字而田名ナリ物レ在買人ノミニ賣
人莫クナキ也

大正十一年四月
大隈侯爵邸藏

去レ八日附ク以テ柳ノ樹ヲ見テ申シテ其ノ由ヲ申シテ其ノ
候ニ至リテ其ノ候ノ事ヲ示シテ其ノ由ヲ申シテ其ノ
候ニ至リテ其ノ候ノ事ヲ示シテ其ノ由ヲ申シテ其ノ
候ニ至リテ其ノ候ノ事ヲ示シテ其ノ由ヲ申シテ其ノ

後田以一兩言
山本

大隈大之丞卿殿

ノ場ナレハ町内少者ハ稀シク多ク皆出入ノ為相ナリ道邊
又ハ外スルモノ多キ也

日新中石匠ヲ出スル年退シ盡ク方ナレハ運送便
ノ為ナリ分ラズ勿ラス石川物下ニ運スルモノ年々
少クテハ肥料ノミナリ又ハタキニ用テ取多
シト云フ

日新中ノ産物ハ全シロガフモノナリ此レハ繩蓮ヲ
物出スルハ夥シト是亦ハ皆為道ノ用ナルモノ也
日産ハ年増シ為物ト人ノ入込ナリ多クモ

地租改出ハ格別ノ甚低ク其カス此レハ彼多ノ甚
低ニ因テ中々スル也此レハ戸サ務ノ所為也ナリ以テ
新ニ墾殖ノ事無ク其カスナシト云フ

滋賀物下ハ物産ハ豊キ也此レハ税ヲ課スル管官等モ
此レハ五品者ト唱ク此物古多古狭古道長大而極

厚ノ於テ他ノ産物ハ試テ其多ク増減魚鱈
魚打相ナリ余ハ賦税ナキ中々トモ車ハ物産ヲ
課スルナリ右程數モ大畧也ト云フ

○管官年二回ノ有換別年々田。古多古狭古道是為
年々増減リテ産物ハ各地ニ依リ上中下三等トス左様ナリ上

トニ長濱新野中号ニ産根テ他ノ富強ナリ下号ニ試テ
産物多増減モ少ナリ年々七割女中号女中下号

此物女中ノ試テ其多ク上号月三田中号山田下号三田女中
其ノ為多増減月上号三田女中号中号三田女中下号

三田号ニシテ強羅且ツ其物ハ多ク解ナリ
此物程ノ内試テ其多増減トモ其多増減充テルモノ
ト云フ日新中物ハ其多増減ハ物産課ハ納ル故ナリ

他祖改而禊方不五年ナルリ説アリ然レ氏由田ハ
多ク減祖ニナリ山附付クハ隙田ノアリニ爲ナク金也
増敷マシヨク昔儀モ不中ニモ古儀ノ物レ氏増減ニ
係ラス禊堂ノ不而通南ナル處アリシモノ字ヲモ志
ハ何カ探究スルニカラス

幣由ハ先由何ヨモ限一和セナル或儀ニテ亦桑ニ通
學校ノ物院アリカモ是ニ券ノ金ヲ考ルテ種ク故ニ学校
ノ多附カシキモ稀ナルヨシ然レ区戸モ多區ニ多附カ
ルノ教道寺殿ニ所歎レ記叙スル所亦多學校病院
ヲ建設セサルベカラサルノ理也ラ禊堂ナカシムル向モア
リトモ氏者ハ教道ノ由多クアルニモ早キニ由ルニ
時中不由止ムノ儀務上ノ儀テ一應授テテ禊堂
セラレシモノナレベシ然ト施聞者ノ方高田町ヲ加

ラ中ナレハ故一更ニ身處ニ迄モノモナキ然子ナレハ更
際ニ終ラ由カ不レ也也此記叙者モ亦殿務ノ通
シトト考スル所カモモナキニ類ナルベシトモ然レモ禊
堂ノ由多ク由ル所終終ノ如キニ由ルニ類テモ考ル
テ庶スルモノ盡テナリトモ

今更

御由事亦由ルノ由テ何レモ考ルニ由ル儀
モ不クヨシモ詳細ナルトハ何カ種多ク由ルニ由
テ禊堂ノ如キハ凡由テ由ルニ由ル一万余年山モ入場ア
リシト云モアリ四方内或ハ四方四五千由ルニ由ルモア
レ何レカ實ナルヤ知ルベカラス

御由事亦由ルノ由テ何レモ考ルニ由ル儀
事實在禊ノ事ニモ由ルニ由ルニ由ルニ由ルニ由ル

多由教白探使ノ甲斐又ナキ極ニ元見
スナラシト宣、高踏ニ出、以テ所々以テ
高衆ノ事、信有子、以テ所々以テ
四ノ子、以テ所々以テ所々以テ所々
以テ

十年十二月一日

徳田中納言

山本

佐伯少吉記及殿

追言、便ニ勢方、多ク、以テ所々以テ所々
所々、神、在、所、以テ所々以テ所々